

酒々井中学校

所在地 尾上141番地の10
電話 496-1040
開校 昭和22年
校長 榎本 泰之
(令和8年度就任)

生徒数	390人 [5月1日現在]
学級数	16 (特4含む) 学級
職員数	40人



上空から撮影した校舎・屋内運動場

●学校経営の概要

学校教育目標

自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成

～人権を尊重し、調和の取れた人間形成～

- 《めざす学校像》 一人一人を大切にする学校
《めざす生徒像》 3つの感を備える生徒（肯定感・有用感・存在感）
《めざす教師像》 より良い指導法を追い求める教師

【経営方針】

次世代を担う子どもたちが夢を持って、困難にも負けず前向きに生きていくための「生きる力」を育むことは学校教育の使命である。本校においても職員の英知を結集し、生徒の自己実現を目指した教育を展開することはもとより、社会に貢献できる資質を備えた心豊かな生徒を育てていきたい。また、「子どもは、学校で学び、家庭でしつけ、地域で育つ」と言われるように、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの幸せのために連携・協力を図って行きたい。



小中連携5項目よりあいさつ運動

本年度の重点目標

- (1) 生徒の変化を瞬時に察知し、組織で判断・即対応する生徒指導を推進する。
- (2) 小中連携5項目を強力に推進する。(挨拶・掃除・時間・聞く・話す)
- (3) ICTを積極的かつ効果的に活用した授業の実践を図る。
- (4) 組織力をさらに高め、子どもたちのために全力で取り組める教師集団であり続ける。

生徒育成方針と重点事項		
生徒指導	学習指導	学校生活
<p>【重点事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇人権意識を育て、相手の気持ちを常に尊重できる生徒の育成を図る。 ◇「いじめ、暴力行為は絶対に許さない」という毅然とした指導の徹底を図る。 ◇人間関係を鍛え、規範意識を高める部活動の実践を図る。 ◇保護者や関係機関との積極的な連携を図る。 ◇「早期発見・即対応」の確実な実践を図る。 ◇生徒理解及び教育相談の充実を図ると共に集団不応、不登校生徒の支援体制の構築を図る。 ◇情報を共有化し、全職員で生徒を育てるという職員集団の姿勢の徹底を図る。 	<p>【重点事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇人権を柱に据えた学習指導の徹底を図る。 ◇授業規律を重視した授業展開と「話を聞く姿勢」「自分の考えを話すこと」の徹底を図る。 ◇ICT機器の活用を計画的に推進する。 ◇グループ活動やペアでの話し合いを充実させ、より良い学習集団の育成を図る。 ◇個に応じた指導の推進とユニバーサルデザインの視点を意識した授業づくりを推進する。 ◇指導と評価の一体化を工夫し、学習意欲や学習効果を高める指導を推進する。 ◇家庭学習の充実を図り、学習意欲の向上を図る。 	<p>【重点事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇本気であいさつ日本一を目指す。 ◇黙清掃・時間を守ることの徹底を図る。 ◇生徒会活動の活性化を図る。 ◇生徒の自治的な活動を推進する。 ◇部活動の活性化と部長会の充実を図る。 ◇学級内での日常の委員会活動や係活動の充実を図り、自己有用感を高める活動を推進する。 ◇他人を思いやり、温かな心を育む指導を推進する。 ◇言葉の暴力、SNSのトラブル防止を図る指導を推進する。 ◇学校行事の活性化を図り、計画的に「生徒たちで作る行事」を推進する。

●学校の特色

- ① 全学年で共通した「自主ノート」を配布し、その活用を通して家庭学習の習慣づくりや質の向上を目指した指導を行う。また、時代に即したICT活用の充実を図り、1人1台端末の有効活用を図る。さらに、学習優先日を設定し、数学・英語の補充学習を実施する。
- ② 数学（3学年）では、習熟度別少人数授業によって、個に応じたきめ細かな指導を行う。
- ③ 毎朝10分間の朝の「読書タイム」を実施する。
- ④ 3学年生徒を対象に、英検受検料の1回分補助を受ける。また、全学年を対象に、学力向上への意欲化を図る。
- ⑤ 「目指そうあいさつ日本一」を掲げ、生徒会活動を中心に明るく礼儀正しい生徒の育成を図る。
- ⑥ 不登校支援教員を中心に校内適応指導教室の効果的運営に努めるとともに、スクールカウンセラーと連携した適応指導に努める。
- ⑦ 人権教育を教育活動の柱に据え、人権集会や人権作文の取り組みを通して、生徒の人権意識の涵養を図る。
- ⑧ 町保小中連携推進協議会の組織を活用した小中連携を推進するとともに、小中児童生徒の直接交流を積極的に行い、円滑な接続を図る。
- ⑨ 地域学校協働本部コーディネーターを中心に、地域ボランティアを活用した教育活動を推進する。
- ⑩ キャリア教育の充実を図り、町内の35事業所の協力を得た職場体験学習の実施を行う。



「人権教室」